

施政方針演述要旨

令和5年大槌町議会3月定例会において、平野公三町長がまちづくりの指針となる本年度の施政方針を述べました。その要旨をお伝えします。

地方創生の推進

町の第9次大槌町総合計画では、人口減少や少子化の進展など、社会情勢の変化に対応し、これまでの魅力あるまちづくりをさらに進め、人との繋がりを大切にしたい誰もが安心して暮らせるまちを目指し、活力ある地場産業の創出や時代の変化に対応した交流人口の拡大など、地方創生に向けたまちづくりを推進してまいります。

本計画」の策定に令和4年度から取り組んでおります。

「後期基本計画」は、「前期基本計画」に掲げた基本構想を引き継ぎ、さらに社会情勢の変化や、国が新たに進める「デジタル田園都市国家構想」を鑑み、その課題と対策を整理し、「国土強靱化地域計画」と「地方版総合戦略」を統合した、一体的な構成で策定してまいります。

組織体制

第9次大槌町総合計画の「前期基本計画」につきましては、令和5年度で5年間の計画期間を終了することから、令和6年度から令和10年度までの5年計画で実施する「後期基

本のことも家庭庁創設や子ども基本法を踏まえ、少子化対策を含む子ども・子育て政策などの重要課題を着実に推進するため、限られた人的

資源の重点的配置を行うとともに、効率的な業務執行ができるよう、健康福祉課に「子ども班」を新設します。また、職員数は、150人体制を予定しており、新規採用職員につきましては、一般事務職、保健師、管理栄養士のほか、正規職員の不在が続いていた文化財専門員2名を採用する予定としております。

当初予算編成

令和5年度当初予算は、第9次大槌町総合計画に掲げる施策を着実に推し進めつつ、持続可能な町財政運営を図る予算として編成しております。

一般会計当初予算額は106億7千6百万円を計上し、対前年度比で19・79%の増となっております。特にも公債費が増額となっておりますが、財政構造の健全化を図るため、町債の繰上償還に要する費用を計上したことが主な要因となっております。

特別会計当初予算につきましては、

国民健康保険被保険者の減少に伴う保険給付費の減少等の理由により特別会計全体は対前年度比で2・17%減の31億7千618万7千円を計上しております。

人口減少に伴い、税収は減少傾向にある中、行政に対するニーズは複雑・多様化しており、行政のデジタル化や社会保障費の増大、老朽化した公共施設の長寿命化など財政需要の増加、復興事業の完了に伴う特別交付税の精算などが見込まれております。

引き続き、地方創生への取り組みには積極的な投資を行いながらも、行政コストの削減に努め、持続可能な町財政運営を図ってまいります。

むすびこ

町民を取り巻く生活環境が変化中、震災前とは異なる地縁となつたことで、自治会・町内会における繋がりの希薄化や役員の担い手不足

産業・観光

地場産業の拡大▶「岩手大槌サーモン」「岩手ジビエ大槌鹿」の拡大支援▶地場製品の生産性向上および安定収量の確保の支援▶サーモン養殖事業▶ユニ蓄養事業▶藻場再生事業▶ダイビング等を活用した観光振興事業

観光物産の拡大▶アニメの活用▶イベントや郷土芸能を活用した観光誘客▶大槌町魅力発信体験型ツーリズム事業

地域経済対策▶住宅建設等促進事業補助金▶合宿誘致事業▶おおちゃん融資

健康・福祉

子育て環境の充実▶妊娠期から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援と経済支援▶地域で子育てを相互援助していく「ファミリー・サポート・センター」の創設▶子どもの居場所づくり支援

高齢者支援の推進▶「大槌町敬老の集い」の地域単位での開催を支援

安全・快適

災害に強いまちづくりの推進▶津波避難対策緊急事業計画を策定▶指定避難場所標識整備事業▶防災無線設備更新整備事業▶消防屯所の整備

自然環境の保全▶大槌町環境基本計画の策定

新たな交通ネットワーク▶デマンド型の乗合タクシー実証運行の継続

などといった課題が散見される状況であり、地域のコミュニティの基盤再生は、今なお安定と自走化に時間を要すると捉えております。

安定的な日常生活を営むことができるよう、引き続き、一人一人に寄り添った「心の復興」に取り組みまいります。そして、大槌町が持続可能なまちとなるべく、未来への可能性を探求し、生き残りをかけた「真の復興」を目指してまいります。

本年は、私の町長としての任期が満了となる年であります。2期目の任期満了を目前に控え、これまでの取り組みをさらに確実なものへと発展させ、人と人とのつながりを大切にしながら「魅力ある人を育て新しい価値を創造し続けるまち大槌」を実現させるべく、残りの任期につきましても粉骨砕身の覚悟で取り組んでまいります。

教育・文化

生涯を通してつながる学びの推進

▶特別支援教育の視点による一人一人に適した支援

地域へと広がる魅力的な学びの場づくり

▶大槌高校魅力化推進事業

町民の学習活動の推進

▶歴史文化の掘り起こし▶第50回町民文化祭

震災伝承

▶震災語り部の育成▶震災教育コンテンツ開発▶伝承の場検討▶(仮称)鎮魂の森整備

未来につながる着実な復興まちづくり

支え合い誰もが暮らし続けられる地域社会づくり

▶各地域における持続的な運営の仕組みの検討および支援

▶災害援護資金貸付金

将来を見据えた持続可能なまちづくり

協働による地域・まちづくりの推進▶「子どもの遊び場」についての検討

男女共同参画社会の推進▶パートナーシップ制度の導入検討

移住・定住の促進▶地域の活性化とまちづくり人材の定住▶地域の担い手の確保

行政手続きのデジタル化▶業務の効率化および町民の利便性向上

広域行政の推進▶第2期釜石・大槌定住自立圏共生ビジョン